

《こども学科特別講座》

子どもの「育つ」を支える保育について考える

子どもが自分の未来に向かって歩み、自分らしさを発揮していくための原動力は何でしょうか。保育は、まさにその原動力を育む仕事です。子どもの「育つ」を支えるために乳幼児期に大切にしたいことに触れながら、様々なテーマについて参加者のみなさまと共に考えます。

※本講座は、保育士等キャリアアップ研修に対応しています

場 所 清泉大学・清泉大学短期大学部 上野キャンパスCr館など  
〒381-0085長野市上野2-120-8

受講費 各1,000円 (②は別途材料費500円)

問い合わせ 清泉大学・清泉大学短期大学部 地域連携センター

Tel: 026-295-1325 Email: [opencollege@u-seisen.ac.jp](mailto:opencollege@u-seisen.ac.jp)

ホームページ <https://u-seisen.ac.jp/>

詳細/申し込み先



<https://sites.google.com/u-seisen.ac.jp/2026kodomokouza>

特別講座Ⅰ 2026年7月25日(土) [受付2026年6月1日10:00~]

※G=グループ

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
9:30-11:30	①幼児の運動能力を育む！ 実践的あそび講座	講義・ G討議	中村 真由美	20	保育実践 (加算対象外)
12:30-14:30	②子どもの造形表現の理解と援助	講義・ 演習	樽井 美波	20	保育実践 (加算対象外)
14:50-16:50	③発達に課題を抱える子ども理解 ＜感覚を取り入れた遊び＞	講義・ 演習	小松 仁美	50	障害児保育

特別講座Ⅱ 2026年8月22日(土) [受付2026年6月1日10:00~]

※G=グループ

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
9:30-11:30	④最新の保育施策にみる近未来の＜保育のすがた＞－現場の視点で考える－	講義・ G討議	西山 薫	50	幼児教育
12:30-14:30	⑤乳幼児期の包括的性教育の意義と実践 ～明日の保育に活かせる教材～	講義・ G討議	碓井 幸子	50	幼児教育
14:50-16:50	⑥保護者の「困った」を「安心」に変える！ ～本音に寄り添い、共に育てる築き方～	講義・ G討議	松木 貴子	50	子育て支援

特別講座Ⅲ 2026年10月31日(土) [受付2026年9月1日10:00~]

※G=グループ

時間	タイトル	形式	講師	定員	保育士等キャリアアップ研修
9:30-11:30	⑦「教えるうた」から「感じるうた」へ ～音楽を通して「感情のやりとり」して頂けますか？～	講義・ 演習	山崎 浩	50	保育実践 (加算対象外)
12:30-14:30	⑧保護者に伝わる保育者のための文章 表現講座	講義・ G討議	佐藤 友哉	30	保護者支援
14:50-16:50	⑨保育現場を支えるマネジメント実践 -心理的安全を基盤としたリーダーシップ-	講義・ G討議	渡邊 智之	50	マネジメント



幼児の運動能力を育む！  
実践的あそび講座

中村 真由美

幼児の発達に応じた運動遊びを学び、実践を通して指導のポイントを身につけます。スポーツ運動学の視点から、ジャンプ・バランス・移動などの動きを取り入れた遊びを紹介し、子どもたちの身体能力や空間認知力を育む方法を考えます。園内で安全にできる「登る・跳ぶ・渡る」遊びを中心に、現場で活かせる実践的な内容です。(上靴、動きやすい服装、タオル、水分をご準備下さい。)



子どもの造形表現の理解と援助

樽井 美波

こどもの造形表現活動の意義について確認し、理解を深めます。また、実際に素材にふれる造形あそびの実践を通して、こどもの創造性を育む造形表現活動の内容や指導方法、援助の在り方について、ともに考えます。  
(別途材料費500円)



発達に課題を抱える子ども理解<感覚を取り入れた遊び>

小松 仁美

発達に課題を抱えるか否かに関わらず、感覚統合は子どもの発達に重要であり、これを進めていく遊びを一緒に考えてみませんか。感覚統合の理論を踏まえて、子どもの発達の課題をとらえ、一人ひとりの発達に応じた遊びの意図した観察・実施を一つの目標として、保育現場で生かすことを念頭にしたプログラムです。



最新の保育施策にみる近未来の<保育のすがた>

西山 薫

将来の保育は、政策的にも乳幼児期の「育ち」が重視され、保育の「質の向上」が目指されています。「こども誰でも通園制度」をはじめとする多様な役割や、前提となる条件(配置基準や人材確保、業務改善)など「現実的な課題」が山積しています。近未来の<保育のすがた>は現場に何をもちたのか、保育施設の今後の「ゆくえ」を現場の視点で考える



乳幼児期の包摂的性教育の意義と実践  
～明日からの保育に活かせる教材～

碓井 幸子

乳幼児期からの包括的性教育について、幼稚園、保育所、こども園での取り組みが始まっていることと思います。そこで乳幼児期の子どもが、自己の体や意思を大切にできるように包括的性教育の意義を考えながら、皆で、乳児から幼児が楽しく使えるアイデア満載の教材を生み出しましょう。  
持ち物：材料、用具を各自お持ちください。



保護者の「困った」を「安心」に変える！  
本音に寄り添い、共に育てる築き方

松木 貴子

保護者の不安の裏にある「思い」「願い」を読み解きながら、SOSとして受け止める視点を理解します。また、子どもを真ん中に置いた「共に育てる」時の信頼関係を築き、課題を解決するための連携力を高めます。



「教えるうた」から「感じるうた」へ  
—音楽を通して「感情のやりとり」してますか?—

山崎 浩

「うたう」という表現には、こころの動き、「わくわく」「どきどき」...が欠かせません。「上手に」ではなく「ゆたかに」音楽をあそぶためには、保育者がそのモデルであってほしいと願います。「正しく」歌うことを求め、「乱暴に」歌うことを批判する音楽でなく、「こころが動く」瞬間を飲みあえるような音楽のあり方を探ります。



保護者に伝わる保育者のための文章表現講座

佐藤 友哉

社会人になると、誰も教えてくれない文章の書き方。文章力を高めることは、保護者との信頼関係構築にも役立つ。では、日々の連絡帳、園便りやメールでどうすれば、正確にそして効果的に言いたいことが保護者に伝わるのか。書く技術はもちろん、考える技術も同時に学習する。



保育現場を支えるマネジメント実践  
—心理的安全性を基盤としたリーダーシップ—

渡邊 智之

保育現場における円滑なチーム運営には、感情のコントロール、安心して意見を言える保育環境、互いを認め合う関係づくりが不可欠である。本研修では、アンガーマネジメント、心理的安全性、承認の視点を基礎として、現場で実践できるリーダーシップのあり方を具体的に学ぶ。